

横須賀海軍施設のPFOS（ピーフォス）等に係る国からの説明について
(第5報)

1. 日 時 令和4年(2022年)10月27日(木) 14:00~14:40

2. 来訪者 防衛省地方協力局 環境政策課長

防衛省南関東防衛局 企画部長

環境省水・大気環境局 総務課長

3. 対応者 市長特命参与

4. 来訪の目的 PFOS等の流出に係る説明のため

5. 概要

(1) 説明要旨

- 6月29日に米側から通報を受けた横須賀海軍施設における排水処理施設からのPFOS等を含む排水の流出について、上地横須賀市長を始め、市民の皆様にも多大なご心配とご不安を与えていることはしっかりと受け止めており、深くお詫び申し上げます。
- 防衛省として、6月の事案発生以来、米側に対し、原因究明及び施設の安全管理の徹底とともに、環境への影響の有無等について、累次の機会を捉えて、申し入れを行っているところである。
- 本事案に関し、米側が8月末に実施したサンプリングの分析結果において、これまでの値と比べ、高い値が検出されていたことが、9月末に判明した。これを受け、南関東防衛局が直ちに周辺海域において再サンプリングを実施し、今般、分析結果が判明したことから、8月末以降に米側が実施したサンプリングの分析結果が本日までに確認できたことから併せてお知らせする。
- 米側が8月29日、30日及び9月29日に、横須賀海軍施設の排水処理施設においてサンプリングを実施した分析結果は別紙2のとおり。
- また、南関東防衛局が実施したサンプリング結果については、PFOS等の値は海を含む水環境中の指針値(暫定)50ng/Lを下回る2.5ng/L~3.0ng/Lであり、前回(9月12日)まで公表した値に比べても、特異な値ではないことが確認されている。

- 環境省としても、当該調査結果については、暫定的な指針値と比較して十分に低いものであると考えている。
- 併せて米側からは、排水処理施設からの排水については、PFOS等の吸着効果があるとされている粒状活性炭フィルターを設置し、それらを通して排水する計画である旨説明を受けており、本格稼働は、11月1日からを予定している旨の説明を受けている。
- 引き続き、米側に詳細情報を求めるとともに、防衛省としては、その詳細について速やかに地元の皆様にお知らせできるよう、米側に働きかけてまいる。

(2) 横須賀市からの確認事項と要請事項

【確認事項】

- まず、米側の横須賀海軍施設の排水処理施設におけるサンプリングの分析結果をどのように理解すればよいのか。
 - ・ 8月29日、9月29日の分析値と、8月30日の分析値が大きく異なる状況。
 - ・ 生活排水ライン、産業排水ラインの入口と出口の値の状況。
 - ・ PFOAが突出して検出されている状況（特に9月29日におけるサンプリングの分析結果）。
- リフトステーション、排水処理施設内の汚泥において実施したサンプリングの分析結果について。
- 9月29日以降の米側のサンプリング状況と対処策について

【国からの回答】

- 米側から排水処理施設におけるサンプリングの分析結果を受け、防衛省として、入口の値よりも出口の値が高く検出されている状況やサンプリング日により分析値が大きく異なる状況やPFOAが突出して検出されている状況が生じている理由について、米側に対し原因究明を求めているところ。
- 米側からは、
 - ・ 8月29日及び30日にリフトステーション22か所のサンプリングを実施しており、現在、分析を進めている。
 - ・ また、排水処理施設内の汚泥もサンプリング調査を実施し、分析を進めている。
 - ・ 定期的にサンプリングを実施しており、排水処理施設においては、10月28日にサンプリングを実施する予定であり、11月からはサンプリングを2週間に一度に増やす旨説明を受けています。

- 環境省としては、
 - ・ 具体的な発生要因や基地内の PFOS・PFOA の使用状況を承知していないため、申し上げることはできないが、科学的な知見を踏まえた助言を行うなど協力してまいりたい。
 - ・ 環境省で設定している暫定的な指針値は、排水に対して設定されているものではないが、米側が計画している粒状活性炭については、一般的に PFOS 等の吸着効果があると考えています。

【要請事項】

- まもなく、当初、米側から粒状活性炭フィルターの設置、運用予定と説明のあった 11 月 1 日を迎えます。一日でも早く、粒状活性炭フィルターの運用を開始するよう、米側に働きかけていただきたい。
- 環境補足協定に基づく立ち入りについては、横須賀市としては、これまで原因究明のための日本政府の立ち入りを求めてまいりましたが、粒状活性炭フィルター運用後のなるべく早い時期に、粒状活性炭フィルター等の確認と、排水処理施設からの排水のサンプリングを実施するため、横須賀市として立ち入りの申請をさせていただきたいと思えます。申請そのものは、南関東防衛局を通じて行うこととなりますが、その後は、環境分科委員会を含む日米合同委員会の枠組みを通じて日米政府間で取り扱うものと承知しております。実現に向けての調整については、ぜひよろしくお願いいたします。
- 今回の米側におけるサンプリングの分析結果をみても、早期の原因究明の必要性は明らかです。政府の責任として、米側と共に、早期の原因究明を図り、再発防止策を明らかにしていただきたい。
- 市民の安全・安心は当然として、米海軍基地で暮らす方々、働く方々にとっても、環境や人の健康に関する問題は、重要な問題です。一刻も早く、原因を究明し、事態の改善を図っていただきたい。
- 今後も本市に影響のある必要な情報について、速やかに提供していただきたい。

【国からの回答】

- 当省としても、今回の事案に対する地元の皆様の不安や懸念をしっかりと受け止めており、米側に対し施設の安全管理の徹底を求めるとともに要請の内容についても真摯に受け止め、地元の皆様の不安や懸念を払しょくできるよう、引き続き、関係省庁と連携し、しっかりと取り組んでまいりたい。

以上

【横須賀海軍施設の排水処理施設におけるサンプリングの分析結果】

サンプリング結果			PFOS	PFOA	PFOS+PFOA
生活排水ライン	サンプリング（3回目） （8月29日採取）	入口	不検出	11100ng/L	11100ng/L
		出口	442 ng/L	8150 ng/L	8592ng/L
	サンプリング（4回目） （8月30日採取）	入口	29ng/L	5.7ng/L	34.7ng/L
		出口	130ng/L	34ng/L	164ng/L
	サンプリング（5回目） （9月29日採取）	入口	不検出	6280ng/L	6280ng/L
		出口	不検出	11700ng/L	11700ng/L
産業排水ライン	サンプリング（3回目） （8月29日採取）	入口	26.9 ng/L	112 ng/L	138.9ng/L
		出口	1370 ng/L	4080ng/L	5450ng/L
	サンプリング（4回目） （8月30日採取）	入口	37ng/L	6.4ng/L	43.4ng/L
		出口	180ng/L	73ng/L	253ng/L
	サンプリング（5回目） （9月29日採取）	入口	不検出	8420ng/L	8420ng/L
		出口	不検出	12900ng/L	12900ng/L